

福井県 高校入試情報

令和7年度福井県入試の全体傾向

●令和7年度入試の大問構成

- 大問1 論説文 中屋敷均「わからない世界と向き合うために」
大問2 漢字
大問3 小説 砥上裕将「一線の湖」
大問4 古文 本居宣長「排蘆小船」
大問4 古文 本居宣長「松の落葉」
大問5 作文 資料A：食品のキャッチコピー 資料B：ポップを作るときの工夫

例年同様、大問5題の構成。指定字数の多い記述問題や、資料をふまえて考えを書く課題作文など、全体的に読解力と記述力を重視した出題が続いている。

★福井県の入試は、『国語の新研究』でバッチリ！

■古文の問題の対策

大問4の古文では、基本的な知識だけでなく、対話文のなかに古文の内容に即した適語を補充する問題が出題された。多くの古典作品にふれて文脈をとらえる力をつけ、問題にも慣れておきたい。

新研究で対策！

- ウォームアップ特集「はじめよう！古文」(p. 80～81)では、古文の問題を解く際に勘違いしやすい部分を再確認できます。
●フォロー特集「古文のかなづかい・重要古語の徹底練習」(p. 104～p. 105)や「古文プラス問題」(p. 114～115)で、苦手になりがちな古文の問題を手厚く対策できます。

■課題作文に関する対策

例年、資料の読み取りと融合した課題作文が出題される。資料から論理に必要な情報を読み取り、条件に従って自分の考えを適切に表現する力が求められる。類題に取り組んでおくとうい。

新研究で対策！

- 「29 課題作文を書こう」・フォロー特集「課題作文で使う言葉」(p. 148～153)で、原稿用紙の使い方などからわかりやすくまとめています。
●入試実戦講座⑤⑥⑦「課題作文」(p. 174～177)では、最新の入試で出題された作文問題を利用して、作文を書く力を高めていくことができます。課題作文の傾向も示しています。

令和7年度福井県入試では、書写の知識を問う問題が出題されました。楷書体と行書体の違いや特徴をおさえておきましょう！



★福井県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	漢語 漢字	漢字を学ぼう	●	●	●	●
		熟語を学ぼう	●	●	●	●
		語句を学ぼう			●	
	現代文	文脈で語句の意味を考えよう	●	●	●	●
		展開をとらえよう	●	●	●	●
		心情をとらえよう	●	●	●	●
		行動の理由・人物像をとらえよう		●	●	
		文章中の表現を味わおう	●	●		●
		話題・情報をとらえよう				●
		指示語・接続語をとらえよう		●		●
		文章を解釈しよう	●	●	●	●
		理由をとらえよう	●	●	●	●
		段落構成をとらえよう				
		要旨をとらえよう	●			
		古典	古文のかなづかい・古語を学ぼう	●		
	古文の会話・主語をとらえよう					
	古文の展開をとらえよう		●	●	●	●
	漢文・漢詩を味わおう		●	●	●	
	詩歌	詩・短歌を味わおう				
		和歌・俳句を味わおう				
	文法	文の組み立てを知ろう	●			●
		自立語を学ぼう				
		付属語を学ぼう				
	表現・情報	敬語を使いこなそう				
		グラフ・図表をとらえよう		●	●	●
		話し合いをとらえよう				
		伝え方の工夫を学ぼう				
		課題作文を書こう	●	●	●	●
★聞き取り問題						
別の出題傾向	形式	大問数	5	5	5	5
		小問数	29	28	31	31
		記号解答	8	9	7	8
		記述式解答（漢字の読み書きも含む）	19	19	24	23

★新研究で出題した福井県の入試問題(令和7年度)

- p. 13大問2 (3) 漢字
● p. 17大問1 (4) 熟語